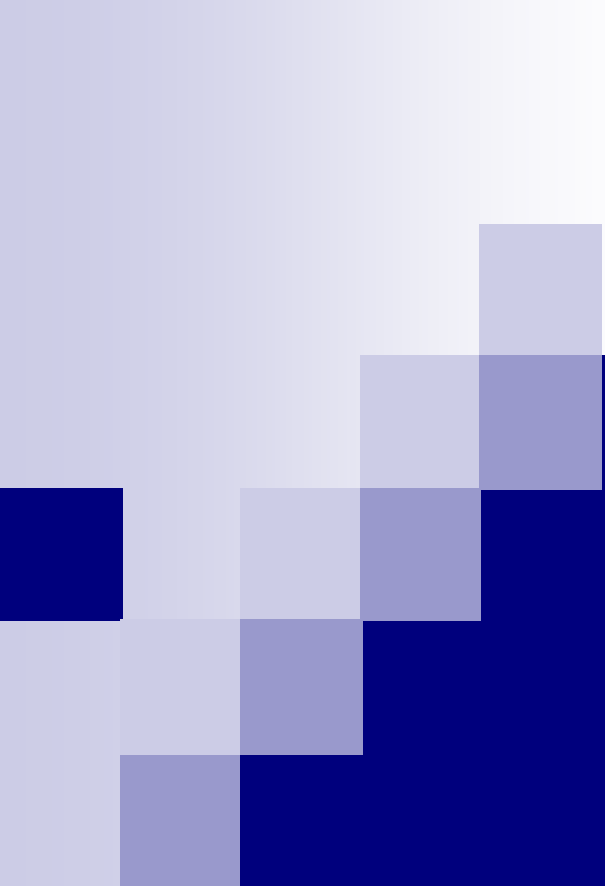




トランプ2.0政権下の 欧州秩序 —EU-NATO体制のゆくえ—

遠藤 乾(東大法学部)

endo@j.u-tokyo.ac.jp

国際通貨研究所オンラインセミナー

2025年10月6日13:00-14:30

趣旨・論点—歴史的な視点から問う—

■ 欧州（国際秩序）はどうなっていくのか

- ウクライナ戦争後のNATO（西側）復活、トランプ2.0の
もとの液状化、欧州戦略的自律の模索
- 欧州の自由民主主義＋EUのゆくえ

■ 中核としての「EU＝NATO体制」（の変遷）

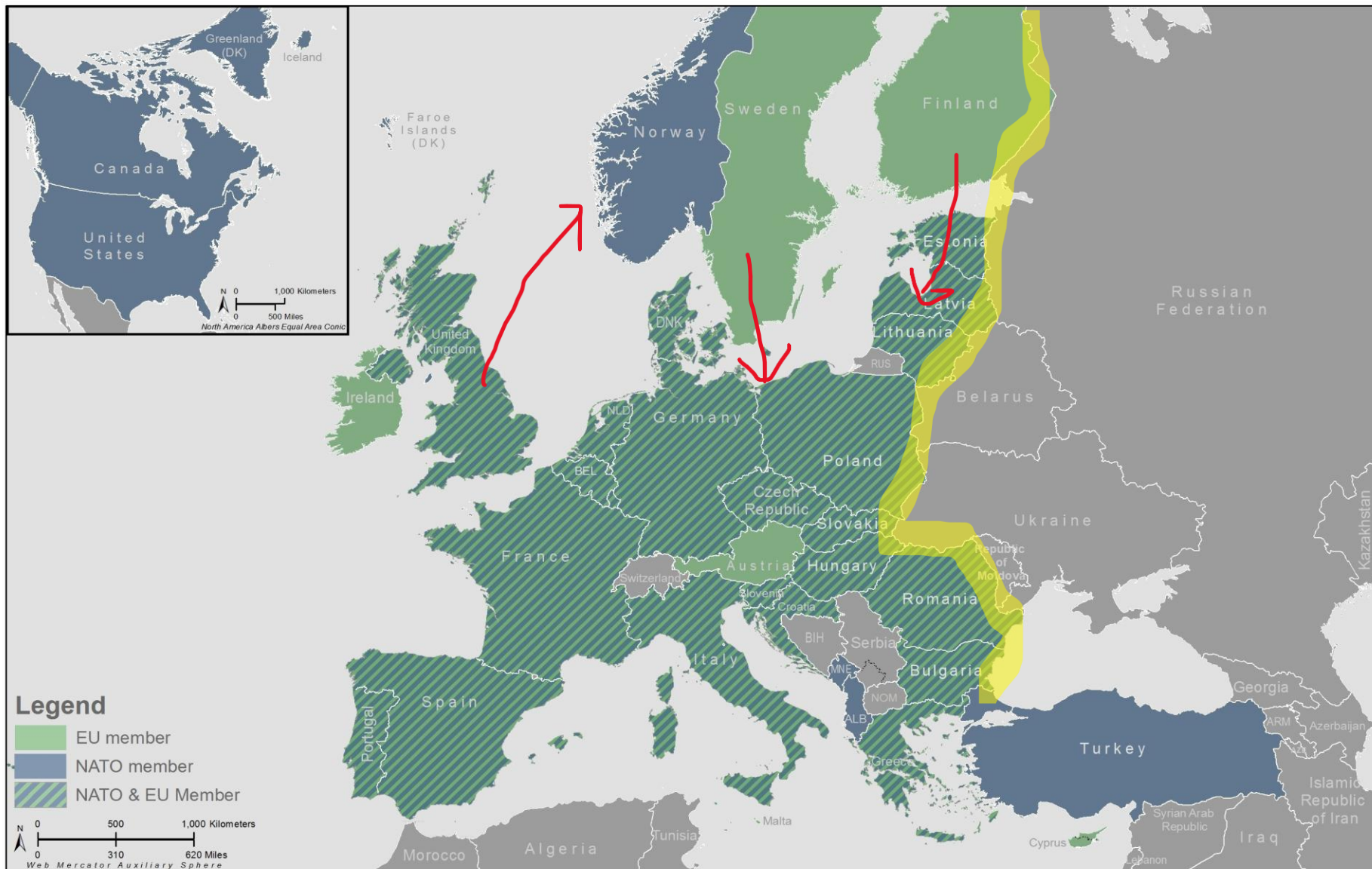
■ 戦後史、冷戦後史、ウクライナ戦争後の動き

■ →未来像占う：「際」（宇）・「外」（米）・「内」（欧）からの挑戦

■ 構成

- 1. ウクライナの衝撃、2. 冷戦期の欧州、3. 冷戦後の
欧州、4. ウクライナ戦争後の欧州、5. トランプ2.0 &
欧州戦略的自律、6. 欧州ポピュリズム

EU-NATO体制(地理的重複)



1. ウクライナ戦争の衝撃－欧州秩序の転回点

- 東西(間地政学的)対立の回帰
- 国際関係に内在する暴力性の前景化
 - 「平和の地」ヨーロッパに侵略・戦争犯罪が回帰
- 同盟・陣営の復活
 - NATOマドリッド首脳会議(2022.6):
 - ロシアを名指しで「脅威」と明示
 - NATOの結束の復活 cf. ‘脳死’ (Macron, 2019)
 - 拡大: フィンランド、スウェーデン(2023, 24)
- EUとの調和的分業→「EU-NATO体制」の復権
(→トランプ2.0による破壊)

2. 冷戦期の欧州秩序≡「EC-NATO体制」

■ 機能的：同盟と統合の親和・補完的併存

- 軍事的に、米国がNATOの枠内で安全を保障
 - Let the Russians out, Americans in, (divided) Germans down
- その枠内で、欧州は経済再建と統合に専念 (ECSC, EEC, EC)
 - 結果的に、欧州は民生的 (civilian) パワー
- 調和・補完的な分業体制
- Cf. 「9条＝安保体制」(日本)

■ 地理的：欧州は西側に限定して統合

- ‘欧州’ は鉄のカーテンで止まる
- EC & NATO加盟国がほぼ収斂 Cf. Norway & Turkey

3. 冷戦後の欧州≡「EC-NATO体制」後景化

■ 東西対立の終焉→快適な前提も蒸発

- ドイツの統一（ドイツ問題・勢力不均衡）

- 機能：EC-NATOの調和補完的分業体制→競合へ

 - ECからEUへ：通貨、外交安保、市民権の共通化

 - ドイツの抑制

 - 経済、環境、移民などの新安保領域へ

 - NATO ソフト化・後景化

 - 敵対性の希薄化

 - テロなど新安保領域へ

- 地理：鉄のカーテン開く→拡大→境界問題

 - NATO (1999, 2004) とEU (2004, 07) の拡大へ

 - 「どこで‘Europe’は終わるのか？」問題

4. ウクライナ戦争の下の欧州

- EU-NATO 体制の復権
- ウクライナ戦争I・II: 2014, 2022-
- 機能: 調和的分業の復権
 - NATO の領域防衛同盟、米国の軍事的中心性の復活
 - EU: 対露制裁、対宇支援主体→経済安保、経済・エネルギー強靱化
- 地理:
 - 地理的収斂, w Finland + Sweden
 - 再び境界問題: それはどこで終わるのか?
 - →「際」の対欧: ウクライナのEU・NATO加盟問題

■ 補) ウクライナ (as Eurōpē) と欧州秩序

■ EU-NATO体制＝中核

- EU加盟? → 候補国へ(2022)
- NATO加盟? → 手続(MAP)スキップ(2023)

■ 踊り場への留め置き?

- Associate, partner, etc. (cf. Turkey, 1987-)

■ 他機関への加盟?

- CoE, OSCE, EPC etc

■ 政治・文化要因の介在

- 安全保障: ウクライナ & NATO・EU加盟国
- 政治: 国家性、農業、汚職・・・
- 文化(的最適圏): 宗教、価値、アイデンティティ

5. トランプ政権Ⅱの下での欧州

- 「外」(US)によるEU-NATO 体制の動揺
- トランプ政権2.0と大西洋同盟(NATO)
 - 軍事: MAGAの孤立主義
 - 経済: 高関税
 - 規範: 正邪<勝敗 cf. AfD(およびロシア)
- EUの戦略的自律とその限界
 - USの穴埋め必要→軍需統合
 - 欧州軍の不在
 - 核抑止の不在
- 2つのレース: ①US穴埋め、②ポピュリズム

6. 欧州ポピュリズムの再来—「内」的挑戦

■ 歴史的経緯と近未来

- 2016年の衝撃: Brexit, Trump, …フランスよお前もか
- 2017年Macron仏大統領の登場vsドイツAfDの興隆(94/2017)
- 2019欧州議会選(後) 極右ポピュリズム鈍化: デンマーク、イタリア、オーストリア (cf. AfD 83/2021)
 - ①EU加盟支持増大: 1983年以来最高値
 - ②ユーロ支持安定: 2002年以来最高値
 - ③極右のEU改革論(離脱論からの脱却)
- 2022.06仏議会選: 与党過半数割、ルペン国民連合躍進(87)
- 2022.09伊総選挙→極右メローニ連立政権
- 2023.10独州議会選で極右AfD躍進
- 2023.11蘭総選挙ウィルダース自由党首位
 - Cf. 04総選挙後フィンランド極右政権入り、09スロヴァキア極右首位
- 2024年6-7月欧州議会・仏国民議会選挙: 極右・急進右派伸長
- 2025年2月独総選挙: CDU第一党、AfD第二党、SPD敗北

なぜ先進民主国でポピュリズムなのか？

—世界政治経済のトリレンマ—

■ グローバル化(移民・統合)で忘れられた人々の反逆

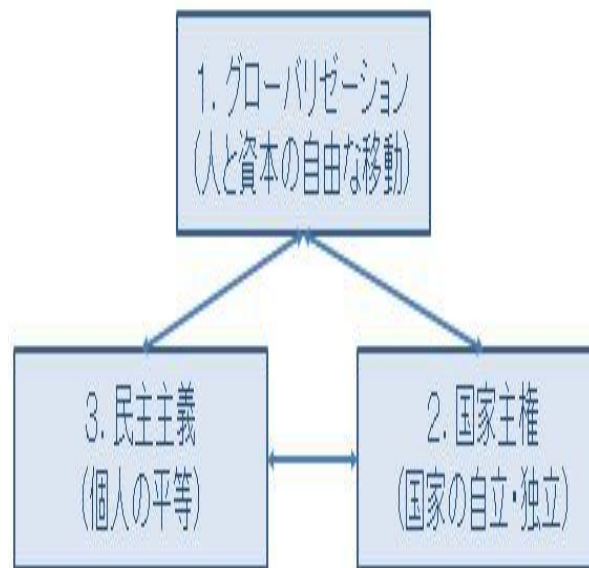
- 先進国の中産以下＝負け組(ミラノヴィッチ)
- 文化・アイデンティティ上の喪失感・焦燥感

■ グローバル化＝国家主権＝民主主義のトリレンマ (D・ロドリック)

- cf TPP、Brexit

■ 主権的民意噴出の一方、グローバル化は容易にはキャンセル不能

- Cf. トランプの資本無規制／グローバル・ブリテン



AVERAGE SUPPORT FOR RADICAL RIGHT vs. LEFT, 1946-2023



21世紀仏大統領選における極右票

France: The Unrelenting Rise of the Le Pen Vote

Share of vote received by the National Front/National Rally candidate in French presidential elections

■ 1st round ■ 2nd round

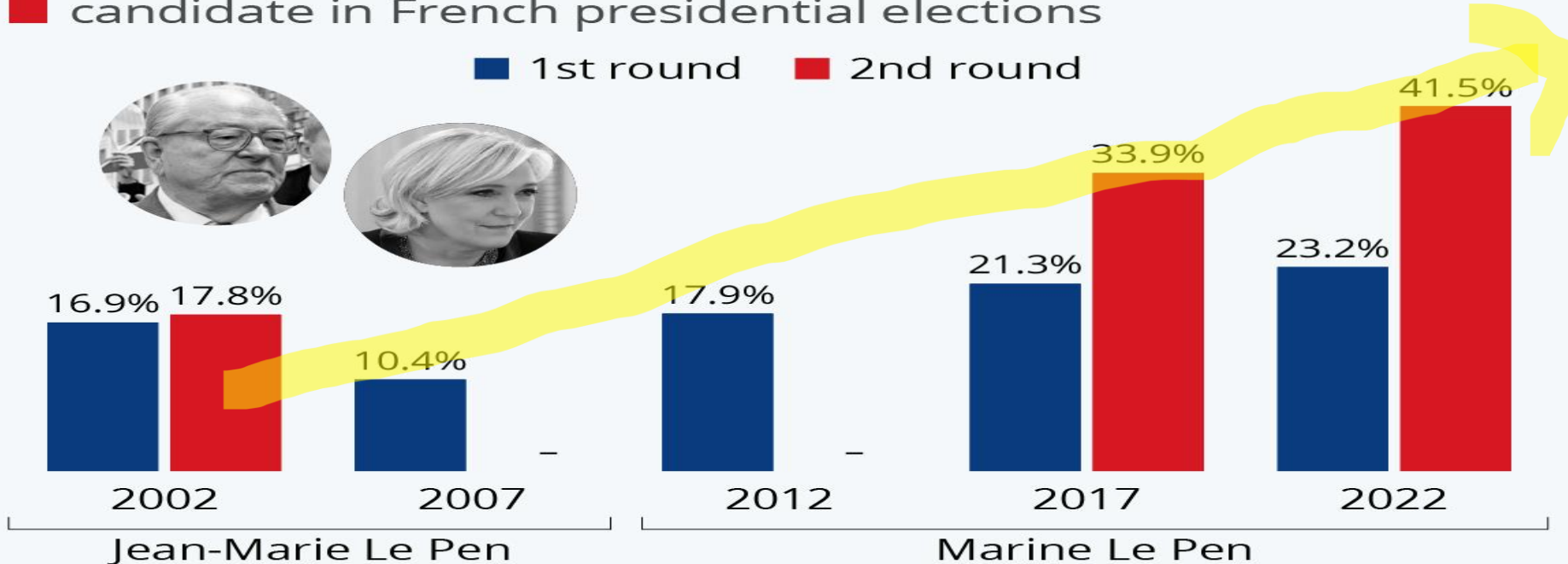


Photo credit: Wikimedia

Source: French Ministry of the Interior

2025ドイツ総選挙結果

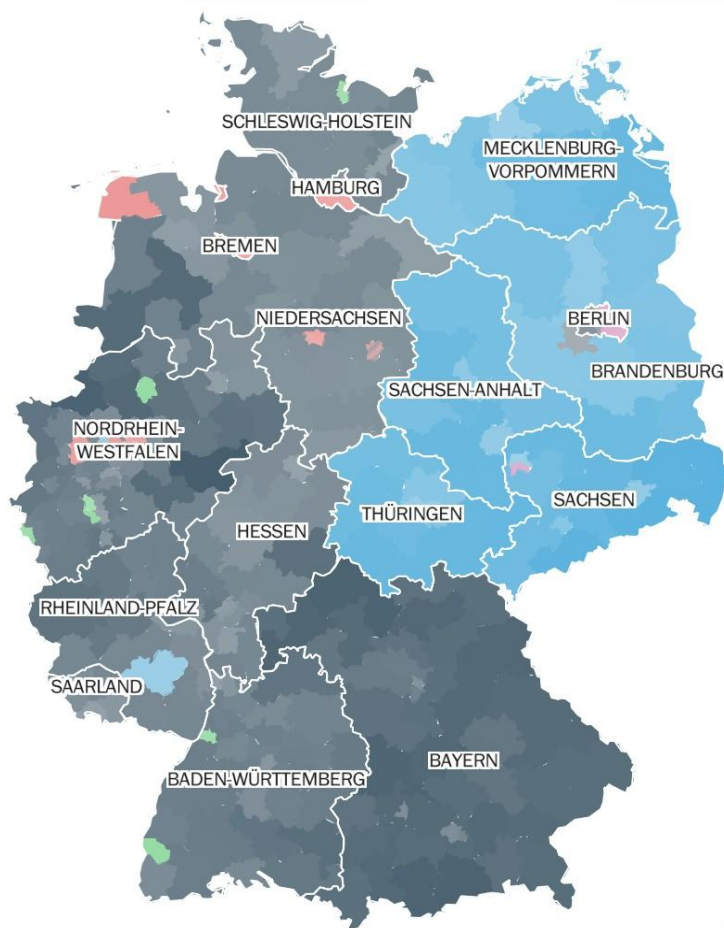
Gewinner Union SPD AfD Grüne FDP Linke BSW

Erststimme

Zweitstimme

Gemeinde

Wahlkreis



📍 Adresse suchen



Deutschland

Vorläufiges Ergebnis

Datenstand: 24.02., 09:33

82,5%

WAHLBETEILIGUNG

61.172.771

WAHLBERECHTIGT

100,0%

AUSGEZÄHLT

ZWEITSTIMME

#	PARTEI	ERGEBNIS UND VERÄNDERUNG	2021 2025
1	Union	28,5% +4,4	
2	AfD	20,8% +10,4	
3	SPD	16,4% -9,3	
4	Grüne	11,6% -3,1	
5	Linke	8,8% +3,9	
6	BSW	5,0% +5,0	
7	Sonstige	7,2% -9,7	

✓ Alle Parteien anzeigen



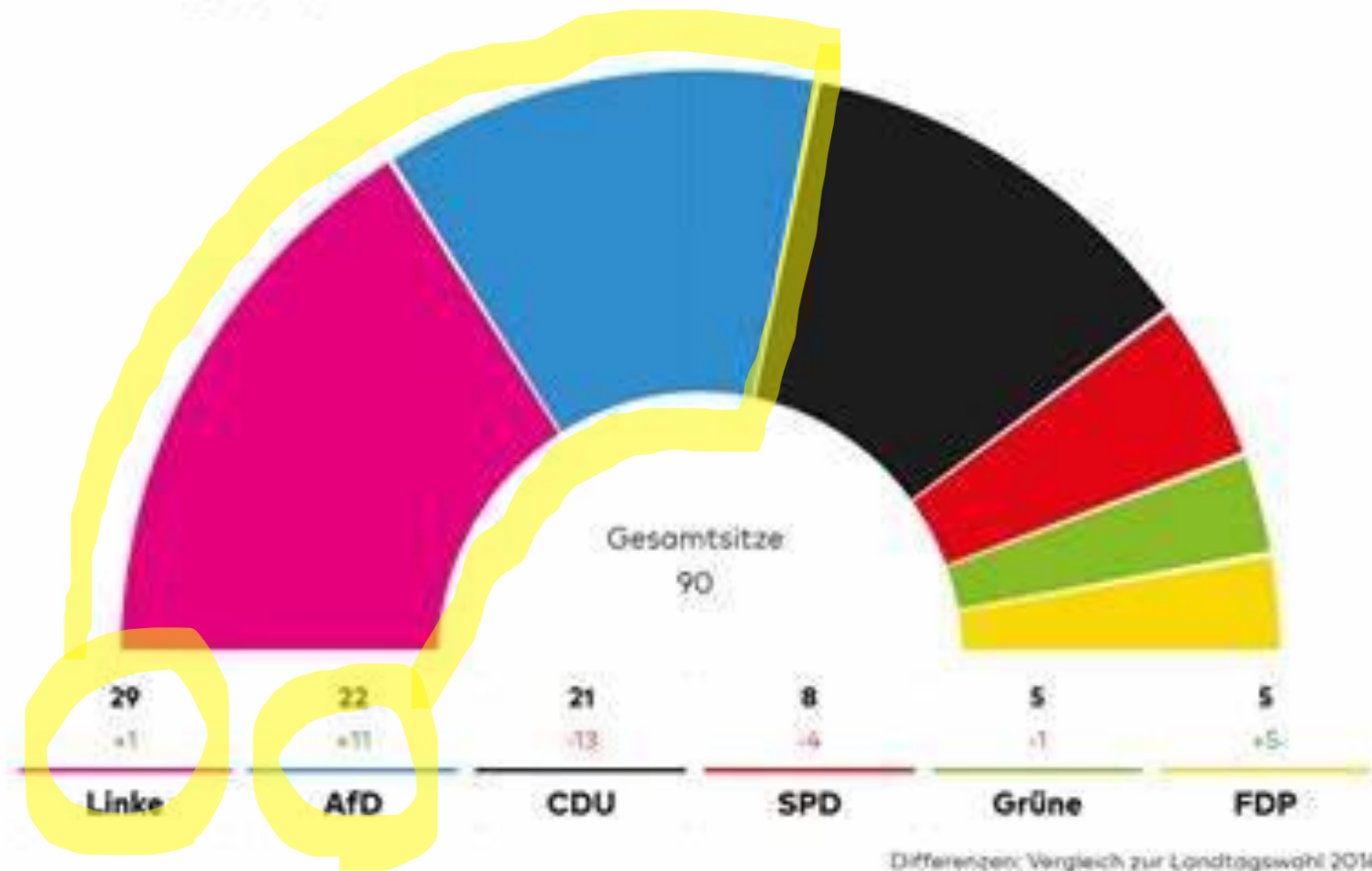
1990 1994 1998 2002 2005 2009 2013 2017 2021 2025

補) 独チュービンゲン州選挙(2024.9)

Sitzverteilung – Thüringen

Vorl. Endergebnis

Wahlbeteiligung: 64,9%



補)オーストリア総選挙(2024.1)

